

講義コード	11C0106001	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	ホームマン 由佳	開講期	第2期
科目名	異文化コミュニケーション2								
履修前提条件					備考				
授業の目的	異文化理解とは、外国語習得や外国人との交流を意味するだけではなく自己と他者の関係を考えることでもある。この授業では、日本と海外のメディア（テレビCM、広告、新聞記事）を主体的に読み解くメディアリテラシーを身につけ、異文化に対する姿勢や意識を高めることを目的とする。								
到達目標	1) 日常生活の中でさまざまなメディアに触れた時、その内容が誰のどのような目的や価値観に基づいて作られているかを考えることができる。（メディアリテラシーを身につける） 2) 海外のメディアとの比較によって異文化を意識することができる。 3) 広告、TV コマーシャル、新聞記事などのメディア素材をメディア教育の枠組みから分析することができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業で扱ったメディア素材を見直して課題に取り組むこと。 授業外学修時間は60時間。								
授業計画	【第1回】 講義概要 【第2回】 メディアと異文化 【第3回】 私のメディア史 【第4回】 メディアリテラシーとは 【第5回】 CM分析：海外のテレビコマーシャル 【第6回】 CM分析：日本のテレビコマーシャル 【第7回】 メディア教育とは 【第8回】 アメリカのメディアリテラシー 【第9回】 カナダのメディアリテラシー 【第10回】 イギリスのメディアリテラシー 【第11回】 映画批評 【第12回】 広告分析 【第13回】 邦字新聞 【第14回】 英字新聞 【第15回】 総括								
成績評価の方法	課題提出 50%、期末試験 50%								
フィードバックの内容	授業中に取り組む演習課題の結果を翌週以降の授業内で教員が開示し、学生の理解や意見をクラスで共有する。								
教科書	『メディアリテラシー 世界の現場から』菅谷明子（岩波新書）2000								
指定図書									
参考書	『大学における英語教育とメディアリテラシー』ホームマン由佳（ソーシャルキャピタル）2017								
教員からのお知らせ	このクラスは英語を習得するための語学の授業ではありませんので、受講には英語ができる必要はありません。ただ、英語のメディア素材を扱うので、英語ができる学生には有益かもしれません。授業は教員による講義とワークシートを使用する演習の2本立てで進めます。授業では自分の考えを書いて提出してもらいますので、積極的な授業参加を期待します。私語は他の学生に迷惑になりますので慎んで下さい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワー（水曜日2限）にて受け付けます								
その他	随時プリント配布								